

UNITT Annual Conference 2013

University Network for Innovation and Technology Transfer

◇一般社団法人大学技術移転協議会◇

UNITT アニュアル・カンファレンスは、大学技術移転における諸課題について講師と会場の双方向から討議するセミナーです。全国の産学連携関係者が集まって、スキルアップ、ネットワーク作りと情報交換の場を形成してきました。第1回の産学連携実務者ネットワークから数えて今回が第10回目を向かえます。

今回は、「UNITT10周年今後の産学官連携のあるべきシステム」、「大型・長期の研究開発プロジェクトにおけるリサーチアドミニストレーション」、「改めて共同研究のあり方を考える」「こないにしていませ！バイオ技術移転！」、「米国の先願主義でどうなる米国出願」(弁理士会協賛セッション)等のテーマを取り上げます。また、新たに産学連携の仕事をする方やスキルアップを志望している方に対して役立つように、「特許基礎講座」や「共同研究基礎講座」、「ライセンス基礎講座」をセッションに加えています。

2日間で大学の産学連携の諸課題が俯瞰できるプログラムとなっています。また産学連携事業に携わる企業の方にも有用ですので、ご参加するようお勧めします。

日時：2013年9月13日(金)セミナー 10:00~18:00 意見交換会 18:30~
9月14日(土)セミナー 10:00~15:30

場所：首都大学東京 荒川キャンパス 講堂・186室・182室・183室
(東京都荒川区東尾久7-2-10)

【交通アクセス】

- ・日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分
- ・都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分
- ・田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車
「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分

地図：http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html

会費：一般 2万円(当日お申込 2万2千円)：13、14日の昼食弁当込
学生 2千円(当日お申込 同額)：13、14日の昼食弁当込
(但し、協議会会員無料招待、紹介企業優待等あります。)

意見交換会費：3千円(当日お申込 同額、セミナー会費とは別)

応募方法：大学技術移転協議会ホームページ

<http://www.unitt.jp> にて受付

7月31日受付開始

※お問合せは、同協議会(E-mail: contact@unitt.jp)までお願いします。

主催：一般社団法人 大学技術移転協議会

共催：首都大学東京 産学公連携センター

協賛(予定)：日本弁護士連合会、弁護士知財ネット、日本弁理士会



首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

(セッション概要)

○全体：産学連携の評価指標について

○A1 UNITT10周年 今後の産学官連携のあるべきシステム…この10年に大きく進展した産学官連携の成果と課題を振り返りつつ、会場参加者とともに10年後の姿を検討する。期待と希望を持って新たな歩みを始める場としたい。

○B1 中小規模大学の産学連携の取り組み…当セッションでは、中小規模大学における産学連携の取り組みをご紹介します。産学連携活動における中小規模大学のミッションや課題について、成功・失敗事例を交えながら議論を行う。

○C1 組織としての若手人材育成…継続的な産学連携活動のためには、「若手人材の育成」が必須です。TLOや大学における組織としての取組事例を紹介し、より良い「若手人材の育成」について議論します。

○D1 特許基礎講座…産学連携・技術移転の現場に必要な知財に関する法律知識、知財の創造・保護・活用へのマネジメントにおける留意点など、実務で役に立つトピックスを中心に解説する。体系的に基礎から学びたい方、学び直しをしたい方は是非ご参加下さい。

○A2 大型・長期の研究開発プロジェクトにおけるリサーチアドミニストレーション機能(京都大学 CiRA の事例を中心に)…大型・長期の研究開発プロジェクトにおけるリサーチアドミニストレーション機能(京都大学 CiRA の事例を中心に)では、山中教授らによるiPS細胞の研究開発の約10年間を事例に、大学における研究推進支援の在り方を議論する。

○B2 企業のKey Personに聞く「大学に求めること」大学の知識にいくら払えるか?…産学連携の形骸化、研究成果がイノベーションにつながらない等の指摘もある中、産業界も他者の技術を取り込み事業につなげる活動「オープンイノベーション」が活発になっている。大学が何に役立つのか、どの程度役に立つのかを、一般論に終始せず、いくつかのシチュエーションを仮定し、可能な範囲でご意見いただき、産学連携実務者の今後の活動に活かしていただく。

UNITT AC 2013 プログラム

9月13日(金)

(M):モデレータ、(S):スピーカー、(C):コメンテータ、(P):司会

9:00	受付開始			
10:00-11:00	オープニングリマーク			
11:00-12:30	【全体セッション】産学連携の評価指標について (M)渡部俊也(東京大学)、(S)山本貴史(桐東大TLO)			
12:30-13:30	昼食			
13:30-15:30	A1 UNITT10周年セッション 今後の産学官連携のあるべきシステム (M)伊藤伸(東京農工大学) (S)三本俊克(INPIT) (S)対馬正秋(岩手大学) (S)廣川克也(慶應義塾大学)	B1 中小規模大学の産学連携の取り組み (M)山本裕子(関西TLO株) (S)大澤住夫(信州TLO株) (S)原田隆(福井大学)	G1 組織としての若手人材育成 (M)坪内寛(九州大学) (S)井路弘(桐東大テクノアーチ) (S)角田勝則(東京理科大学) (S)石田政隆(関西TLO株)	D1 特許基礎講座 (日本弁理士会協賛セッション) (M)上條由紀子(金沢工業大学) (S)久保浩三(奈良先端科学技術大学) (S)折坂茂樹(IPポランテ国際特許事務所) (S)亀崎伸宏(彩都総合特許事務所弁理士)
15:30-16:00	コーヒー・ブレイク			
16:00-18:00	A2 大型・長期の研究開発プロジェクトにおける リサーチアドミニストレーション機能 (京都大学CIRAの事例を中心に) (M)高橋真木子(理化学研究所) (S)高須直子(京都大学) (C)平田徳宏(九州大学)	B2 企業のKey Personに聞く 「大学に求めること」大学の知識にいくら 払えるか? (M)正城敏博(大阪大学) (S)河原克己(ダイキン工業株) (S)内田史彦(株式会社製作所)	C2 産学連携の業界でいかに成長するか (M)大西晋嗣(関西TLO株) (S)水田貴信(桐東大テクノアーチ) (S)井門孝治(理化学研究所) (S)三角可恵(九州大学)	D2 共同研究基礎講座 (M)小川隆(九州大学) (S)村松英一(神戸大学) (S)村田真稚恵(京都大学)
18:30-20:30	意見交換会 (会費:3,000円)			

9月14日(土)

10:00-12:00	A3 最適な研究推進機能・産学官連携機能とは ～URAスキル標準から考える～ (M)諏訪桃子(東京農工大学) (S)山下秀(東京大学) (S)杉光一成(金沢工業大学) (S)石山晃(桐東大テクノアーチ)	B3 こないにしてまっせ！バイオ技術移転！ ～大学の技術移転分野のバイオ 分野に 特化した課題とその解決法 (M)鈴木睦昭(遺伝学研究所) (S)坂田恒昭(塩野義製薬株) (S)橋本和彦(関西TLO株) (S)塚本潤子(奈良先端科学技術大学) (S)Peter Takizawa Ahlenius(MVA)	C3 ファンディング・エイジェンシーの知財マネ ジメント方針 ～NEDOを例として～ (M)西尾好司(富士通総研) (S)久木田正次(NEDO) (C)櫻井克己(鹿島建設株) (C)林いづみ(永代総合法律事務所)	D3 ライセンス基礎講座 (M)石田政隆(関西TLO株) (S)嶋崎紀子(桐四国TLO) (S)白田大介(桐東大テクノアーチ)
12:00-13:30	昼食			
13:30-15:30	A4 改めて共同研究のあり方を考える (M)山本貴史(桐東大TLO) (S)桜井政考(首都大学東京) (S)水田貴信(桐東大テクノアーチ)	B4 大学発ベンチャーを成功させるには (M)山口泰久(DEJキャピタル株) (S)小路弘行(桐PRISM Pharma) (S)松田一敬(合同会社SARR)	C4 産学連携の分析力・判断力を養う ～ケー ス・メソッドによるマネジメント・トレーニ ング～ (M)高田仁(九州大学) (S)児玉耕太(北海道大学) *参加条件について添付資料参照*	D4 米国の先願主義でどうなる米国出願 (日本弁理士会協賛セッション)

(セッション概要 つづき)

- C2 産学連携の業界でいかに成長するか・・・スピーカーの皆様は産学連携で成功を積み重ねてきたキャリアなどをご紹介します。若い方々がこの業界に入ってもいっそり暴れられ、成果がキャリアに反映される組織を目指してディスカッションをしたいです。
- D2 共同研究基礎講座・・・今年で6年目になる“基礎”講座です。共同研究契約について分かりやすく説明します。産学連携関係の経験が浅い方向けの講座です。
- A3 最適な研究推進機能・産学官連携機能とは～URA スキル標準から考える・・・大学等の研究支援体制に必要な機能とそれを担う様々な人材について、「URA スキル標準」を活用しながら具体事例を交えて議論する。
- B3 こないにしてまっせ！バイオ技術移転！～大学の技術移転分野のバイオ分野に特化した課題とその解決法・・・現在、それぞれの現場の担当者がバイオ知財の技術移転を成功させているが、それぞれの成功事例や困っていることの情報交換の場は少ないと感じている。そこで、UNITT ANNUAL MEETING にて、大学の技術移転分野のバイオ分野に特化した課題とその解決法に関して討論する場をもうける。
- C3 ファンディング・エイジェンシーの知財マネジメント方針～NEDO を例として・・・NEDO は、昨年末に「NEDO プロジェクトにおける知財マネジメント基本方針」を策定した。セッションの前半に、NEDO から、本方針を策定するに至った背景、内容や運用について説明を行う。後半は、パネラー及び参加者との議論、NEDO の考えを共有すると同時に、公的プロジェクトにおける出口を見据えた知財戦略について考える。
- D3 ライセンス基礎講座・・・ライセンス活動は大学のシーズと産業界のニーズのマッチングから始まります。マッチングを成功させるために、ポテンシャル企業の見つけ方、マッチングイベントの活用方法についてプロフェッショナルがご指南します。
- A4 改めて共同研究のあり方を考える・・・共同研究の成果の取扱い、各大学で様々である。UNITT10 周年にあたり、改めて、大学持分の譲渡、持分に応じた費用負担、共同研究相手方企業の自己実施に対する実施料や費用控除等々の是非について議論を行う。
- B4 大学発ベンチャーを成功させるには・・・大学発ベンチャーの経営者や、ベンチャー支援に関わったベンチャーキャピタル(VC)等のディスカッションにより、大学発ベンチャーにおいて事業に成功する秘訣を明らかにしたい。
- C4 産学連携の分析力・判断力を養う ～ケース・メソッドによるマネジメント・トレーニング・・・産学連携は、多様なステークホルダーがそれぞれ重視する価値や獲得目標に配慮する必要があります。本セッションでは、ビジネス・スクールで多用されるケース・メソッド法を活用し、実例を題材とした多角的なディスカッションを通じて、分析力や判断力、戦略構築の能力を高めるマネジメント・トレーニングを行います。(参加条件について添付資料参照)
- D4 米国の先願主義でどうなる米国出願(弁理士会セッション)・・・「先発表主義」とも言える米国先願主義のもとでは、大学知財の現場においても、例えば発明の公表にあたってこれまでとは異なる対応が必要になってきます。その具体的な内容について、大学・企業のそれぞれで知財実務に携わっておられる方、出願手続きを行う弁理士のそれぞれの立場からアドバイスいただきます。

UNITT10thanniversaryConference!!